

疾患の治療と看護Ⅶ	2年・前期	1単位 15時間	教授 本吉美也子 他
科目カテゴリー	看護の対象理解	科目ナンバリング	32210362

### 1. 授業のねらい・概要

疾患の治療と看護Ⅶでは、学生が「脳・神経」、「運動器」疾患の治療と看護の知識を習得し、これらの疾患患者に対して根拠に基づいた看護を実践できる能力を養うことを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 脳血管障害（クモ膜下出血・脳出血・脳梗塞・TIA）の病態生理，症状，検査，治療を説明できる。（D-2）
2. 急性脳梗塞患者の看護のポイントを4つ以上挙げることができる。（D-2）
3. 脳腫瘍の分類，病態生理，症状，治療を説明できる。（D-2）
4. 末梢神経障害（糖尿病/アルコール性ニューロパチー・ギランバレー症候群，正中/尺骨/橈骨/座骨神経障害）の病態生理，症状，検査，治療を説明できる。（D-2）
5. 慢性期脳梗塞患者の看護のポイントを4つ以上挙げることができる。（D-2）
6. 骨折・脊髄損傷の病態生理，症状，検査，治療を説明できる。（D-2）
7. 筋疾患・神経接合部疾患，脱髄・変性疾患の病態生理，症状，検査，治療を説明できる。（D-2）
8. 脊髄損傷・大腿骨頸部骨折によって障害を持った患者に対して必要な看護を説明できる。（D-2）

### 3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進める。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして授業前の小テストをおこなう。

#### 【ICT活用の有無】

ICT 活用の実施：Googleclassroom, Gmail 等による学習課題の提示・解説。

### 4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	脳神経の機能（〔7〕P17～46）と障害された時の主な症状（〔7〕P48～80）	講義	予習：教科書〔7〕P2～3を読み脳梗塞を発症したTさんや家族に対して看護師ができること4つをまとめておく。 復習：授業でまとめた脳神経の機能と障害された時の主な症状について確認する。	本吉美也子
2	脳血管疾患の病態と治療（〔7〕116～155）	講義	予習：教科書〔7〕P120を読み脳卒中を大きく2つに分けるとどのように分類されるのかを確認しておく。 復習：脳梗塞の種類と症状の特徴をまとめる	本吉

3	脳血管障害患者（急性期）の看護 （〔7〕P260～375）	講義	予習：教科書〔7〕P260～262 を読み急性期脳梗塞患者の看護のポイントを 5 つまとめる。 復習：急性期の患者の安全を守るため留意すべきことをまとめる。	本吉
4	脳血管障害患者（慢性期）の看護 （〔7〕P260～375）	講義	予習：教科書〔7〕P264～265 を読み慢性期脳梗塞患者（退院後）の看護のポイントを 4 つまとめる。 復習：脳神経疾患患者に対する看護の特徴をまとめる。	本吉
5	脳腫瘍と末梢神経障害の病態と治療 （〔7〕P155 ～ 163 , 185 ～ 196）	講義	予習：P155 原発性脳腫瘍と転移性脳腫瘍、それぞれの悪性・良性の割合を確認しておく。 復習：授業内で解いた国家試験問題を復習する。	千木良
6	筋疾患・神経接合部疾患、脱髄・変性疾患：診断と治療（〔7〕P197～199, 204～223） 神経疾患患者の看護（〔7〕P376～398）	講義	予習：教科書〔7〕P387 を読みパーキンソン患者の看護目標 2 つを確認しておく。 復習：授業内で解いた国家試験問題を復習する。	千木良
7	骨折・脊髄損傷：診断と治療 （〔10〕P86～104、110～112）	講義	予習：教科書〔10〕P87 を読み原因により分類された骨折 3 種類を確認しておく。 復習：授業内で解いた国家試験問題を復習する。	千木良
8	運動器疾患患者の看護：脊髄損傷・大腿骨頸部骨折患者の看護 （〔10〕P200～293） 定期試験	講義	予習：教科書〔10〕P203 を読み ROM および MMT とは何かをまとめておく。 復習：試験で間違ったところを復習する。	千木良 本吉

## 5. 成績評価の方法・基準

予習内容の小テストを各授業冒頭に行う（2点 x 8回 = 16点）。

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）の配点は84点。

小テストと定期試験の総合点数の合計で成績を評価する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、4段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 井出隆文 他（2025）系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕脳・神経 第16版  
医学書院

2) 田中栄 他（2025）系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔10〕運動器 第16版  
医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について、最低90分の予習および復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動は慎むこと。

受講前，受講後も必要に応じて人体の構造と機能Ⅳ・Ⅴ，病理学，臨床検査学の復習をすること。

**9. 課題に対するフィードバックの方法**

小テストの解説は当日の授業内に，定期試験の結果と解答については後日 Googleclassroom 等を用いて解説する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

**11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施されます。**

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。